

赤れんが通信



北海道庁の金昭賢(キム・ソヒョン)国際交流員が、韓国の友好地域との交流事業及び北海道の情報などについて書いたレポートをご紹介します。

友好図書巡回展 3地域で開催

昨年3月、北海道とソウル特別市の友好提携10周年を記念して執り行われた「友好図書寄贈式」を通じてソウル特別市から北海道へ寄贈された図書が昨年11月から3か月間、韓国と交流のある3地域(北見、網走、旭川)の図書館で巡回展示されました。今年の1月には、旭川中央図書館において北海道の友好地域であるソウル特別市やおすすめの友好図書を紹介するセミナーを開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止となりました。

(左から)網走市立図書館、北見市立中央図書館に展示された友好図書



小学校オンライン交流実施

札幌市内の小学生(伏見小6年、真栄小3年)を対象とした韓国文化授業を実施しました。本来は国際交流員が各小学校を訪問する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、交流活動をオンラインで行いました。普段は国際交流員が学生たちに韓国と日本の文化の違いを紹介する授業を行いますが、今回は授業だけでなく、学生たちから日本の旅館、食、建築、伝統音楽をはじめとする日本固有の文化や学生たちが友達とよく遊ぶゲームを教えてもらう時間もおり、とても興味深かったです。そして、学生たちから大切なお手紙をいただき、とても感動しました！

クイズで学ぶ日本文化！

- 1. 温泉旅館においてあるお茶菓子、いつ食べるものでしょうか？
 - ① 温泉に入る前
 - ② 温泉を楽しみながら
 - ③ 温泉に入った後



- 2. 握り寿司の味を楽しむためには、どこに醤油をつけたら良いでしょうか？
 - ① しやりとネタ共にまんべんなくつける
 - ② しやりにだけつける
 - ③ ネタにだけつける



- 3. お城を建てる時、敷地内に蛇行した道を作った理由は何でしょうか？
 - ① お客様の滞在時間を長くするため
 - ② 侵入した敵を攪乱させるため
 - ③ もっと多くの花と木を植えるため



- 4. 初音ミクなどのキャラクターを誕生させた音声合成ソフトの名称は何でしょうか？
 - ① アンドロイド (Android)
 - ② ボーカロイド (Vocaloid)
 - ③ セルロイド (Celluloid)



正解)

①-1 (温泉旅館のお茶菓子は、温泉に入った後) ②-1 (お城を建てる時、敷地内に蛇行した道を作った理由は、侵入した敵を攪乱させるため) ③-2 (握り寿司の味を楽しむためには、しやりにだけ醤油をつける) ④-2 (初音ミクなどのキャラクターを誕生させた音声合成ソフトの名称はボーカロイド)

国際交流員の楽しい冬の過ごし方

三回目の冬が過ぎました。今回の冬は記録的な大雪で、バスも電車も数日間運休が続いたため、雪道を歩いて通勤する方々もいました。外を歩いていると、無限におかわりできるかき氷の世界に来ているようで、「本当に食べられる雪が降ってくれたら、みんなにとって幸せな冬になるのでは」と考えました。天気はあまりよくありませんでしたが、様々なことをしながら充実した時間を過ごした気がするので、国際交流員の冬の過ごし方をご紹介しますと思います。



スケートをしました。市内にある真駒内セキスイハイムアイスアリーナは、1972年札幌オリンピックの競技場でもあります。冬のシーズンが終わると、この場所は大規模イベント会場として運営されます。



日本最北の動物園である「旭山動物園」に行ってきました。雪が積もっている時期にはペンギンたちが園内を散歩する姿が見られます。一列に並んでよちよちと歩く姿が愛おしかったです。動物園の規模が大きくて、一日で全部見回することはできませんでした。



千歳市に位置する「支笏湖」は日本で2番目に深く、冬でも水が凍らない湖です。冬季に湖畔で開催される「千歳・支笏湖水濤まつり」の会場には、湖水を凍らせて作った巨大な氷のオブジェが立ち並び、まるでゲームの中の世界のような様子でした。



新しい趣味ができました！生まれて初めてスキー場に行って、スノーボードの滑り方を習いました。「なんで今まで一度も来てみようと思わなかったんだろう？」と思うほど町の近くにスキー場があって驚きました。



「すのうすけ」

道庁の庭に雪だるまを作りました。北海道に降るパウダースノーは小麦粉のようにサラサラで、固まらないことが多いのですが、今年はかなり重く湿った雪が降ったので、雪だるまをたくさん作りました。雪が積もったり溶けたりを繰り返して毎日少しずつ違う風景が広がるのを見て、冬は静かでありながら躍動感のある季節であることを実感することができました。



「層雲峡温泉水瀑まつり」に行ってきました。つららが天井を埋め尽くした氷の洞窟の中は、童話に出てきそうな魔女の城のようでした。激しい吹雪のおかげで「真の冬まつり」を体験することができました。



毎年2月中旬頃、小樽で開催される「小樽雪あかりの路」では、夜道を飾る雪の彫刻とろうそくの火を鑑賞し、冬の温かさを感じることができました。



✓ 赤れんが通信
バックナンバーは
こちら



✓ 北海道庁
国際課
FACEBOOK



✓ 編集者・発行先 総合政策部 国際局 国際課
北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL : +81-11-231-4111 FAX : +81-11-232-4303